



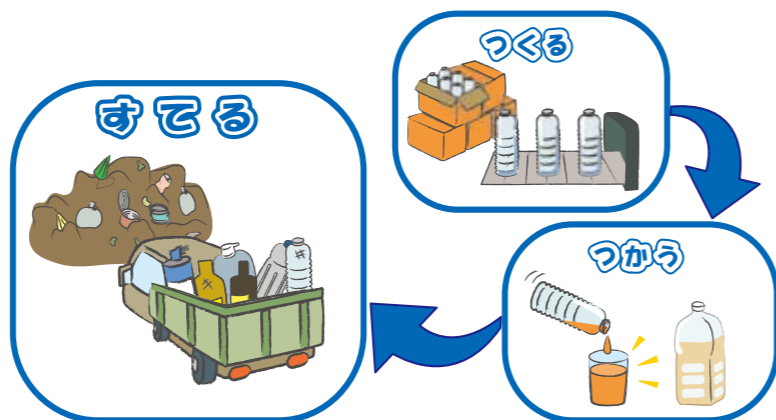
いらなくなった木材で、ニワトリ小屋をつかったポフのお父さん。新しい木を使わなくても、立派な小屋ができたよ。リサイクルってアイデア次第でなんでもできるね。わたしたちの世界ではいらなくなったものほどこへいくかな。

4 行き場をなくしたごみ

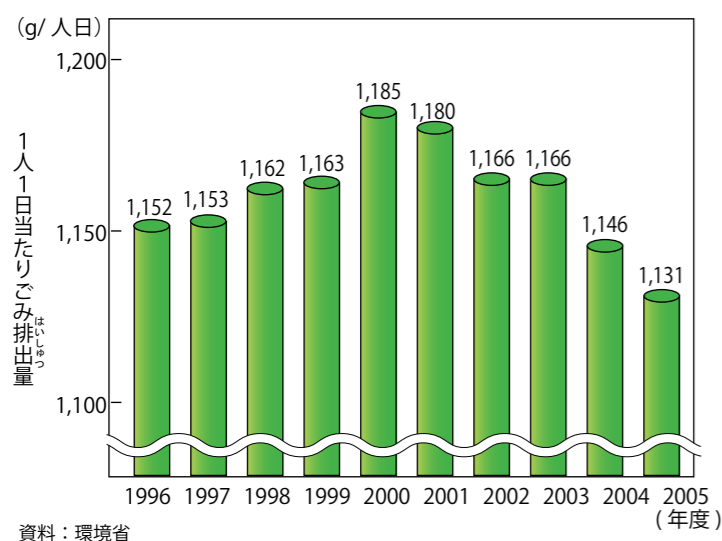
スーパーやコンビニやファーストフード店など、まちに出るとほしいものがいつでも買えてとっても便利です。でも、みんなが買い物したり、食事をしたときには必ずごみが出ています。処理が追いつかないほどの大量のごみが、行き場をなくして環境問題になっています。

1 ごみの旅路

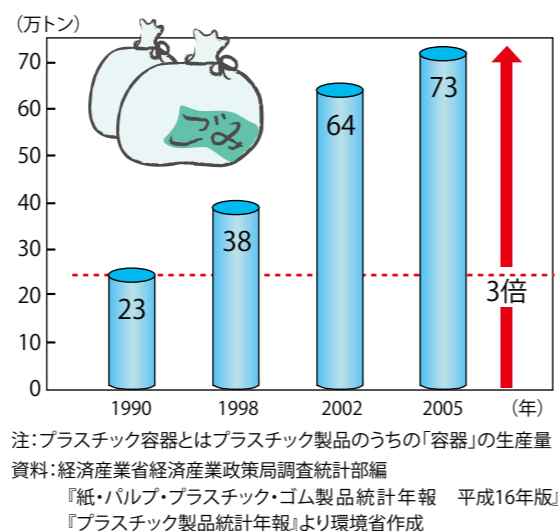
わたしたちは、たくさんものをつくって、たくさん使って、たくさん捨てる「使い捨て」型の生活を送っています。これが原因でごみはどんどん増えてしまっています。



● 1人が1日に出すごみの量



● プラスチック容器の生産量の増え方



2 ごみが増えるとどうなるの？

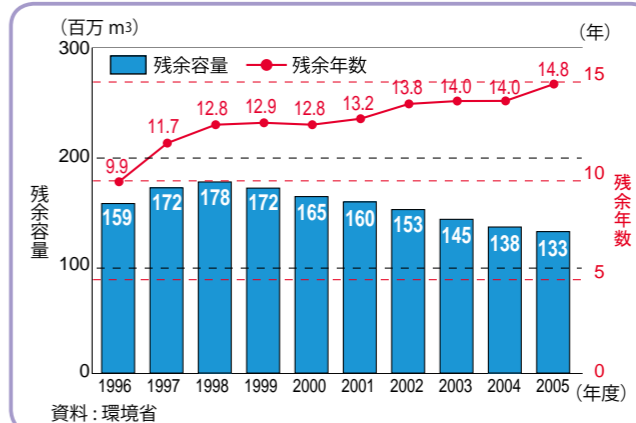
集められた大量のごみは手間と時間をかけ、またエネルギーを使って処理されます。ごみの処理は自然環境にも大きな影響を与えています。

ごみを捨てる場所が満杯になる



ごみの処分場がもうすぐいっぱいになりそうです。新しい処分場をつくるにも、狭い日本では場所を探すのがむずかしくなっています。

● 最終処分場が処理できる残りの容量と満杯になるまでの年数（一般廃棄物）



ごみを捨てる場所が、あと15年で満杯になっちゃうの？ぼくが大人になるころにはどうなっちゃうのかな。

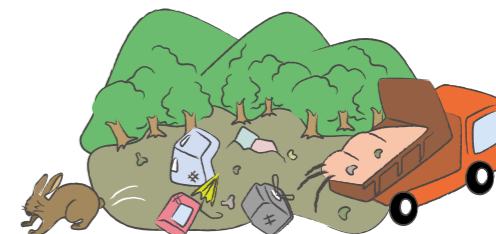


二酸化炭素が増える



焼却するごみの量が多くなるほど、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生量も増えていきます。

ごみの不法投棄が増える



決められたところ以外の場所に勝手にごみを捨てる（不法投棄）人が増えています。川や海に捨てられたごみが海岸に打ち寄せられたり、海流によって外国に流れ着くことなどが問題になっています。

知っておこう！ レジ袋を減らそう

みんなが買い物をしたときに、ごく当たり前にもらっているレジ袋。1年間に約300億枚（1人1日約1枚）がごみになっています。まちや海岸などのさまざまな場所で風に飛ばされたりして散らばって問題になっています。

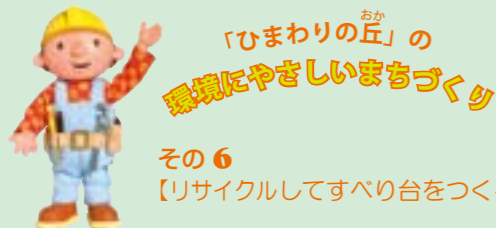
そこで、広がるレジ袋の利用にストップをかけるためにレジ袋の有料化やマイバックの持参を呼びかけるなど、全国各地でレジ袋削減運動が広がっています。

みんなも買い物のときにはお気に入りのマイバッグやふろしきを持参して楽しみながらレジ袋削減に協力しましょう。



「コマメ」に買い物袋を持ち歩こう。地球温暖化を防ぐライフスタイル「コマメ生活」の実践者、「コマメちゃん」。

『コマメちゃんの部屋』 <http://www.wanukurashi.ne.jp/intro/komame/index.html>



ボブが前に使っていたシューターをリサイクルしたボブのお父さん。古いシューターはすべり台に大変身！こどもたちも大よろこび。
わたしたちの世界ではどんなリサイクルがあるのかな。

3 3Rを広げよう

いままでゴミとして捨ててしまっていたものを、これからは大切な資源としてくり返し使っていくことが大切です。つまり「使い捨て型社会」から「循環型社会」に変えなければなりません。

①ごみを減らす (Reduce)、②くりかえし使う (Reuse)、③再生利用 (Recycle) の「3R」活動を広げて循環型社会をつくりましょう。

Reduce
リデュース

●ごみを減らす

- ・包み紙などの容器包装はできるだけ少なくしよう。
- ・壊れにくく、長く使える製品を買おう。

Reuse
リユース

●くりかえし使う

- ・リターナブル容器（牛乳びんのようにお店で回収し、洗って再び使えるようにする容器）を使おう。
- ・いらなくなったものは欲しい人にゆずったり、リサイクルショップに売ろう。

Recycle
リサイクル

●資源として再生利用する

- ・ごみを分別し、リサイクルしやすくしよう。
- ・リサイクルされた製品を買おう。

「3Rで地球を救え！」アイドルたちの環境キャンペーン

人気アイドルグループ「AKB48」のうちの5名が、地球温暖化防止対策として「3R」の推進をテレビコマーシャルで呼びかけています。

リデュース(Reduce)=ゴミを減らす。リユース(Reuse)=繰り返し使う。リサイクル(Recycle)=再資源化の「3R」をだれでもすぐに覚えられるような軽快な曲に合わせて歌っています。

耳に残るこの歌をみんなも覚えて、3R活動をしてみましょう。

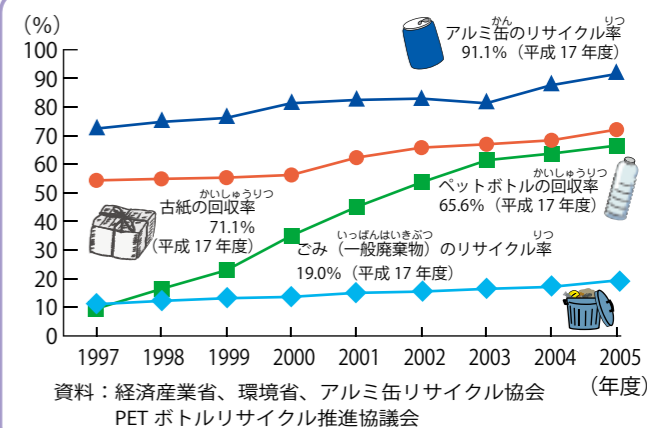
◎ごみは宝もの

ごみとして捨てていたものでも、工夫次第でまだまだ使えるものがたくさんあります。ごみを分別して出すだけで、資源を再利用できます。リサイクルを進めてごみを環境にやさしい製品に変えましょう。

◎ごみのリサイクル

それぞれのまちでごみの分別方法は違います。ルールを守って、ごみを出すことが、ごみ問題の解決につながります。

●リサイクル率の推移

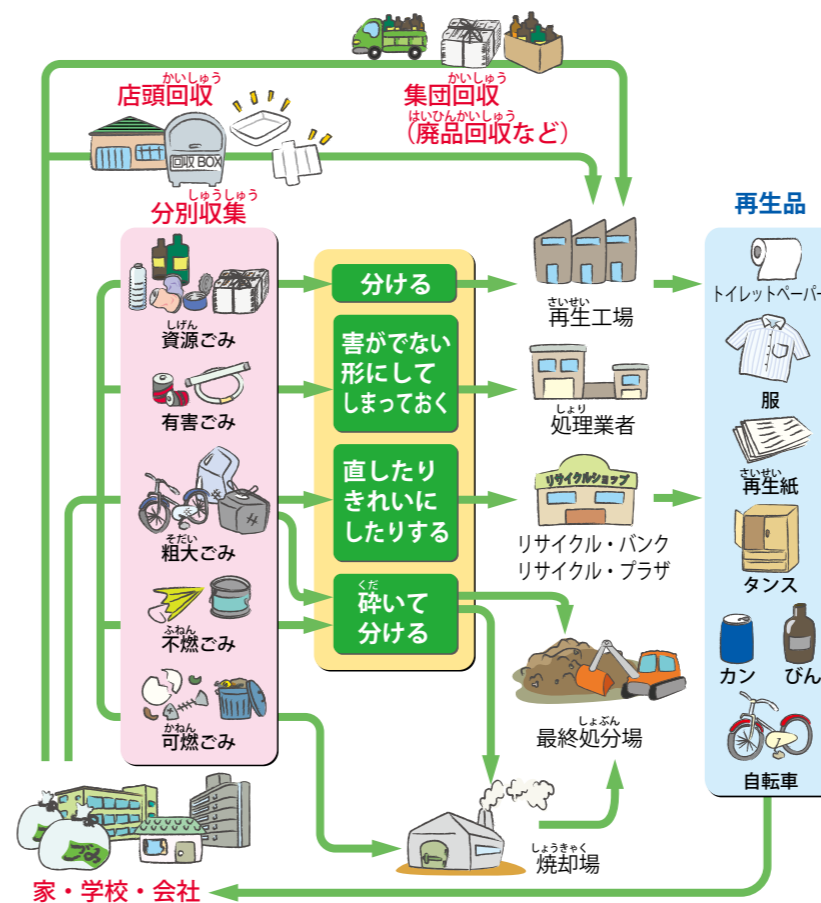


●割り箸のリサイクル推進活動

割り箸を資源として再利用する動きが全国に広がっています。商店、旅館、飲食店、学校などから集められた割り箸は平成17年度は約487トンにもなりました。紙の原材料として再利用されています。



(写真提供：王子製紙株式会社)



「知っておこう」身近にあるマークに注目しよう「環境ラベル」

環境に負担の少ない製品を表しています。買い物をするときは、このようなマークのついた製品を選んで買うようにしましょう。



エコマーク
環境に負担が少ない商品。



国際エネルギースター
パソコンなどのOA機器の消費電力の削減をしている商品。



グリーンマーク
ノートや雑誌などの古紙再生製品。



PETボトルリサイクル推奨マーク
使用済みPETボトルを原料として使用した商品。



牛乳パック再利用品
使用済み牛乳パックを原料として使用した商品。



パソコン3Rマーク
環境にやさしいパソコン購入の目安となるパソコンの環境ラベル。